

2011年6月14日

報道関係者各位

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ

NVC が販売する Cell Janus が BCP 対応のグローバル負荷分散を安価に実現

記

株式会社ネットワークバリューコンポネンツ（本社：神奈川県横須賀市、代表取締役 役：渡部進、以下略称：NVC、東証マザーズ：3394）が昨年9月に取扱いを開始しました Cell Janus に新機能が追加されました。

Cell Janus は、これまでマルチホーミング機能をメインとして販売してまいりましたが、その最新ソフトウェア 4.2.0 では、これまで高価な機器でしか実現できなかった広域のグローバル負荷分散を実装しました。

グローバル負荷分散機能は、地域をまたがった広域での、ネットワークのリスク分散や負荷分散を実現します。

災害から得た教訓の一つとして、事業継続性の観点から、リスク分散の重要性が再認識されました。サーバを社内で設置運用する（オンプレミス）だけではなく、データセンターやクラウドサービスを活用した、地域をまたがった広域でのサーバのリスク分散は、もはや BCP（緊急時企業存続計画または事業継続計画）の観点から欠かせないものとなってきています。しかし、サーバの広域における複製技術が多々ある中、ネットワークの広域負荷分散技術は、これまで高価な機器でしか実現できませんでした。

マルチホーミング機器で 30 万円台という驚異的なコストパフォーマンスを提供してきましたセルテクノロジーの Cell Janus は、このグローバル負荷分散機能を実装することにより、非常に導入しやすい広域のネットワーク負荷分散をお手伝いいたします。

提供開始時期は、2011年6月です。

なお、Cell Janus は、一般財団法人 日本品質保証機構（JQA）および一般財団法人 VCCI 協会認定製品です。

以 上